

月刊 KatsuMagazine

カツマガジン

2011年11月号 vol. 8



CONTENTS

巻頭言「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」	1
① 電子書籍端末の利便性を考える	2
② 「自炊」を極める	5
③ 本を読もう	8
近況報告：フォトリディング大阪講座、無事終了しました ..	10
編集後記	10
勝間塾レポート（第7回月例会：10月20日実施）	11

愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ

私が大好きな言葉ですが、では、私たちがどうやって歴史から学ぶのでしょうか。それは、他の人が言葉にしてくれたことを聞いたり、見たり、読んだりすることしかありません。

その中でも「読書」はいつでも、どこでも、すきま時間に多彩に好きなだけ行える、うっとりするくらい魅力的な学び方です。

しかし読書に関しては、いくつか問題があります。

1. たくさん本がありすぎて、何を读んだらいいかわからない
2. 本は持ち歩くのも、保管するのも、それなりに面倒
3. せっかく買っても、読むのが遅くてなかなか進まない



今回のKatsuMagazine（カツマガジン）は、これらの課題を一気に解決します。

「1」については、おすすめの本をたくさん公開します。

「2」については、電子書籍端末の良さや自炊の方法をまとめました。

「3」については、フォトリディングによる速読のコツをお伝えします。



ぜひ、この秋、たくさんの読書に挑戦してみてください。

一番のおすすめはもちろん、私の新刊『まじめの罠』です。

「まじめ」がいかに保身と視野狭窄を招くのか。

必ず気づきがあると思います。

それでは今月もKatsuMagazine（カツマガジン）をお楽しみください。



 勝間 和代

テーマ1 電子書籍端末の利便性を考える

読みかけの本を何冊でも持ち歩けるし、前に読んだ本を外出先でふと読みたくなった時も、とても便利なのが電子書籍端末です。実際に5台の端末を使ってみた勝間による、選び方のポイントや効果をまとめました。

Raboo、始まりました。端末も、電子書籍も、事前に想像していたよりいい感じです。

September 03, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/09/raboo-337b.html>

楽天と紀伊國屋書店、ソニー、パナソニックの4社が共同で取り組み始めた電子書籍サービスがあります。名前は「Raboo (ラブー)」。8月10日オープンです。電子書籍系は、仕事柄、なるべく試すことにしているので、さっそくパナソニックの専用端末UT-PB1を手に入れて、いろいろと試してみました。

結論から言うと、「意外と、端末も電子書籍サービスも使いやすい。これはお気に入りになりそう」という感じです。

まず、端末を持ったときの正直な第一印象は、「少し、重い?」。約400gとのこと。200gくらいのKindleやソニーのReaderに比べると、なるほど、ちょっと、重いわけですね。でも、使っているうちに、「ああ、単純にKindleやReaderと比べてはいけないんだ」ということが分かりました。なぜかというUT-PB1は、Android OSの入った、高性能端末なんです。なので、カラーだし、いろいろなアプリが普通に動くし、どちらかという、「iPadの軽いもの」と思った方がいいということが分かりました。持ち歩いても、そんなに重い、というほどでもありませんでした。

Readerと違って、何が楽だったかという、やはり、Wi-Fi対応。ReaderはWi-Fi対応ではないので、電子書籍をPCで買って、USBケーブルを介して、端末に移すのですが、UT-PB1は、Wi-Fi通信でそのまま端末から買えます。しかも、楽天IDと紐付いているので、楽天IDを持っていれば詳細な登録は不要です。楽天のポイントを使って購入できるので、なかなか便利でした。

端末の使い勝手や本の読みやすさは、iPadより良かったです。電子ペーパーも目に優しく好きですが、カラーものはやはり液晶パネルを使ったカラー端末のほうがきれいに読めますね。

そして、大きさがなかなか絶妙。iPadでは大きすぎる、ソニー系だと小さすぎ。その中間の、私が常々、「このくらいだといいなあ」と思っていた、その大きさでした。

本のダウンロードはさくさくできました。品揃えは1.5万冊とまだ豊富とはいえませんが、いろいろと立ち読みができるので、気に入ったものを10冊くらい、ポイントでさくさくと買ってみました。楽しい。



大きさを比較すると、こんな感じです。
左から、iPad(9.7インチ)、この端末(UT-PB1:7インチ)、Kindle、Reader(6インチ)、Reader(5インチ)

課題は電池。本当に、どんどんなくなります。自然放電も大きいです。実際に本を読んでいたところ、1日はもちますが、2日はもたない感じでした。1~2週間放っておいてもほとんど電池が減らないReaderとはかなり感覚が違います。

あと、予想外に便利だったのは、アプリに付いてきた日経電子版。私は契約者なので、朝、新聞そのものを取りに行く前に、寝室でそのまま端末を叩いて読めるのは便利でした。

パナソニック独自のサービスのDiMORAやDIGAとも繋がっているので、まだいろいろと楽しめそうです。

しかし、この端末、なんか愛称つけてあげたいですね。「電子書籍タブレット」では、無機質すぎないですか？

いずれにしても、本をどんどん読みたい私にとっては、さまざまな電子書籍端末が競い合うのは大歓迎です。最近ではUT-PB1を持ち歩いて、出先でもよくこれで本を読んでいます。本好きの方、お試しください。けっこうなお値段(約3.5万円)ですが、活用次第で、値段以上の価値が十分ありますよ!!



関連情報

●【楽天市場】Raboo楽天の電子書籍端末ショップ
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/raboo/>

● 勝間が電子書籍について、「ダ・ヴィンチ電子ナビ」で語りました。
『電子書籍を読むことに抵抗がなくなったキッカケって?』
<http://ddnavi.com/feature/12543/>

電子書籍端末に必要なものと、電子書籍の本当の効果

September 09, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/09/post-a104.html>

相変わらず、Raboo(楽天の電子書籍ストア)専用端末のUT-PB1(パナソニック)を使っています。自炊も試してみました。PDF Readerがついているので、一応PDFは読めますが、本棚には並びません。なので、ソニーの端末(Reader)の方が便利そうなのですが、個人的にはUT-PB1のほうが使い勝手が良かったです。

理由は簡単で、なんといっても「反応速度が速い」ことです。Readerだけを使っている時には気がつかないのですが、電源のon/offとか、タップして立ち上がるまでのスปีートなど、Readerはタイムラグがあります。それに対し、UT-PB1はさくっと立ち上がります。これは結構違います。

ただし、電池はもたないので、毎日充電が必要です。毎日充電が必要でも、それでも、やはりCPUは賢い方がいいです。

「丈夫」というのも重要です。Readerはカバンにそのまま入れておいたら、けっこう傷だらけになって、1台は一度、液晶交換になってしまいました。今はケースに入れているので、いちいち出すのがちょっと面倒です。

ところが、UT-PB1はiPhoneやiPad並みには丈夫なので、そのままカバンに入れています。

もっとも、さっそくmicroSDのところがうまく認識しなくなってしまったので、今は、自炊したデータをmicroSDではなく、USB経由で送っています。microSDは入れ方が悪かったのか、スイッチが逆に入るようになってしまいました。SDカードを出すと、入れたと勘違いし、入れるとダメになってしまいます。けっこう格闘したのですが、なおりませんでした。そのうち専門家に見せようと思っています。新しい機器は難しい。

でも、新しい機器を手に入れたことで、また読書熱が高まり、電子書籍で貪るように本を読んでいます。結局、端末の一番の効果はそこなのかもしれません。

自炊本を入れた電子書籍端末を持ち歩いてみたところ、長所を2つ発見

January 02, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-59a5.html>

今日は午後出かけるときに、自炊本を入れた電子書籍端末を持ち歩いてみました。思ったよりもいいです。というのは、端末になってはじめて分かったのですが、紙の書籍は携帯時に、重さ以外にも、下記の点が面倒だったということです。

1. ページを開くこと。どこまで読んだのか、しおりを入れておく必要がある。
2. 両手が必要なこと。文庫でも、なかなか片手で読めません。

ところが、1も2も、電子端末は解決しているのです。

特に、片手で読めるのは便利で、ほとんど携帯電話でメールを読む感覚です。1駅しか時間がなくても、取り出して読んで、またすぐにしまえることができるし、ちょっとしたレジの待ち時間なんかもいい感じでした。

いま、ふと気づいたのですが～大量の蔵書を持ち歩く意味

January 03, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-eb5b.html>

電子書籍端末に、適当に手元にある本を入れていますが、たとえば、手元にあった高級チョコレートの本をいま、スキャンしています。理由は、銀座その他のチョコレートショップの地図があるためです。そしてふと気づいたのですが、この、手元に大量の蔵書を持ち歩く、ということの意味、実はけっこう、大きいのではないかと。

私たちの知識はふだん、頭の中に入っていて、アクセスするにはそれなりに骨が折れますし、細かいことは、何となくは覚えていても、正確には覚えていません。

しかし、自分の知識を形成してきた書籍を大量に持ち歩くということは、そこにいつでもアクセスできる、ということですから、イメージでいうと、自分の本棚を持ち歩くのと同じですね？

しかも、OCRをかけておけば、将来的には、自分の蔵書の全文検索とかも簡単にできますよね？

なんか、直感的には、単なる電子化以上の意味合いが、生まれるような気がします。しかも、そこにまた、デバイスが生まれそうな…。PCでももちろん同じことができるはずなのですが、やはり、書籍を中心としたデータ専用端末というのは、意味合いが違ってくると思います。

もうちょっと考えてみます。これはけっこう、すごいことが起きているかも。

関連情報

- 電子書籍端末+自炊本+半身浴=1日3冊の読書
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/3-0aeb.html>

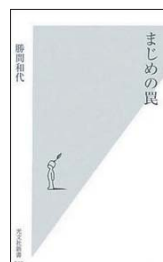
- さらに気づいたこと～
自炊は、新書よりハードカバーにより効果が高い
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-9369.html>



すごい女子会

1,260円

男子は読まないでください！ 美人で才能に恵まれたメンバーによる、とびっきりの「すごい女子会」が実現しました。



まじめの罠

777円

「まじめの罠」とは、何かに対してまじめに努力した結果、自分や社会を悪い方へ導いてしまうリスクのこと。この罠にはまっていますか？

楽天ブックス 勝間和代特集

<http://books.rakuten.co.jp/event/book/business/katsuma-kazuyo/>

テーマ2 「自炊」を極める

「自炊」とは、自分が買った本を私的複製の範囲で電子書籍用のデータに加工することです。使いやすい電子書籍端末を手にしたことで、勝間の自炊熱が一気に過熱。断裁の方法・スキヤンの設定など徹底的に研究しました。

自炊の愉しみ～初日のまとめ

January 02, 2011 http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/point_of_view/2011/01/post-e51d.html

自炊とは、自分が買った書籍を、著作権違反とならない私的複製の範囲で、自分で、電子ブックに適するデータに加工することです。以下、自炊初日の体験を綴ります。工作みたいで、いろいろ工夫をして、楽しいです。

書籍の電子化については、自炊ではなく、他炊といわれるような、スキャン代行業者さんに同じ作業を頼むこともできるのですが、自炊については私的な複製である範囲においては著作権上OKだけれども、他炊についてはグレーとなっているため、私は自炊に特化することにしました。

ステップ1: まずは断裁をマスター

とりあえず、断裁機(正式には、裁断ではなく、断裁、だそうです)を注文しました。PlusのPK-513Lというものがおすすめということで、値段は3万円前後。

やってきた断裁機、思ったよりも、大きくて、重いです。しかも、一体ふだん、どこに置いておけばいいやら、という大きさ。とりあえず、事務机における大きさでないので、食卓の上に置いて、断裁をしてみました。

まずは新書から。すごく簡単にできました。テクニックもなにもいりません。位置を合わせて、レバーを下ろすだけ。驚くほど切れるので、とにかく、指を切らないように注意しないと、というレベルです。新書1冊分が、ほとんど力を入れずに一降りです。ジャキッとおしまい。

すこし大変なのはハードカバーの本。まずはカバーを剥がして、半分ずつ断裁します。余白も断裁して手間がかかったのですが、後で、実はPDFの段階で簡単にトリミングができるので、この時点ではとりあえず、バラバラにすればよかったということが分かりました。ホチキスやしおりに気をつけながら、バラバラにする、それだけです。性能のいいカッターがあれば、ここはあまり苦労しません。



断裁・スキャンした本はこんな風に
ゴム止めて保管しています

ステップ2: ドキュメントスキャナを使いこなそう

バラバラになったページは、ドキュメントスキャナで読み込みます。ここも正直、決め手はひたすらスキャナの性能です。家にDR-2050という、いまのDR-2510のひとつ前の機種があり、あと、会社にS1500があるので、はじめは新しいものはいらないと思ったのですが、ウェブでカタログを眺めていると、ふと欲が出てきました。

ひとつ上位機種にすると、1分当たり、20枚から40枚に、飛躍的に性能が上がります。だいたいの本は100～200枚ですから、5～10分のもものが、2～5分になる計算です。これから莫大な数の本をスキャンするんだよなあ、と思ったので、上位機種の据え置き型を買うことにしました。DR-3010Cとfi-6130/6140あたりを迷ったのですが、いかんせん、ずっとキヤノンを使い続けていて、ソフトウェアの設定や使い勝手になれているのと、fi-6130ではやや中途半端で、6140では高すぎたので、DR-3010Cにすることにしました。

そしてやってきました、DR-3010C。本気で速いです。dpiをいくつにするかが難しいのですが、とりあえず、300dpiではやや粗く、600dpiでは遅いしファイルも大きいので、400dpiに設定しました。

というわけで、基本のスキャン設定はさほど難しくなく

- ・400dpi
- ・白黒・両面スキャン（グレイを推奨している記事も多いですが、とりあえず、白黒の方がきれいでした）



表紙を入れた自炊本はこんな風に見えます

で読んでいだけですが。本の断裁がキレイだと2枚一緒に読んだり、目詰まりすることもほとんどありません。最初に50枚しかおけないので継ぎ足しますが、継ぎ足しを忘れた場合でも、分割されたPDFファイルをあとで結合すれば大丈夫です。

本当に難しいのは最適化のところです。今のところのスキャンの設定を記録しておきます。

- ・読み込みは詳細設定で
- ・明るさはかなり、暗め原稿対応に設定（標準だと、意外と文字が薄くしかスキャンできない）
- ・コントラストは標準
- ・裏写り防止などはオフ（オンにするとかなりスキャンが遅くなる）
- ・カラードロップアウトの赤をオン

ステップ3: PDFファイルを加工する

できあがったPDFファイルに、以下の2つの加工を施します。

●加工1－OCRで文字認識をさせて、あとで検索できるようにする。Adobe PDFの標準機能であります。S1500以上のクラスのスキャナであれば、Acrobatが標準でついてくるので、それを利用すればOKです。

●加工2－Readerのように、小さいもので読む場合はここが肝ですが、「トリミング」をして、余白を削っておきます。この時にも、奇数ページと偶数ページを別にトリミングすると、きれいに余白がなくなります。

また、トリミングのときに、大胆に、ページ番号や右肩・左肩の章の名前なども削ってしまうと、小さな端末でも見やすくなります。もともとページ番号は表示されるし、検索機能があるからこの章かを肩を見て検索をすることはまずないので、情報としては不要です。

ステップ4: 端末で読む!!

自炊しても、読まなかったら本末転倒です。Readerで特に気に入ったのは、OCRしておけば、ノート機能でマーカーつけると、ちゃんとノート一覧に残ること。あとで大事な部分を見直したり、検索するのに超便利です。

自炊は、CDをばんばんとデジタルオーディオプレイヤーに入れる感じとよく似ています。MDをせっせと作っていた頃を思い出しました。いろいろなところにバラバラと読みかけだったものが、1ヶ所にまとまるのが、本当に良い感じです。当たり前ですが、持ち歩いても、軽いし、本も傷みません。もちろん、断裁機もドキュメントスキャナもお金を出せば出すほどいいものが手に入りますが、ここは、懐具合と頻度との折り合いですね。

しばらくは、自炊→読書の日々が続くそうです。好きな人は、断裁機とドキュメントスキャナがあればいろいろ楽しめますので、自炊にチャレンジしてみてください。

ポイントは「いかに手間暇かけないか」ということ

January 10, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/sonytips-6387.html>

相変わらず、せっせと自炊を行っていますが、下記のようなことがだんだん分かってきました。とにかく大事なことは「いかに手間暇をかけないか」です。自炊の手間のほうが、読む手間よりもかかったら、意味がありません。なので最近では、こんな感じです。

1. ファイル名は面倒なので、スキャナがつけた日時そのままでもいいと割り切る。
2. トリミングも面倒なので省略。なくても、なんとか読めます。
3. 転送はエクスプローラーで行う。eBook Transferですと、特にSDカードの読み込みはとんでもなく遅いです。
4. OCRもスキャナにお任せ。
5. したがって、一番重要なことは「スキャナの性能」。すなわち、一度に何枚置けるのか、どのくらいジャムしないのか、どのくらい正確に読むのか、が重要です。

ファイルの圧縮なんかも全くやっていないので、ソニーのReaderに入れられるメモリーの方を大きくしました。SDとメモリースティック、どちらも32GBで、合わせて64GBです。本体が2GBしか入りませんから、こういうものが必要になります。

80冊くらいで、だいたい1.4GBくらい使いました。そうすると、64GBあれば、数千冊分入る計算になります。

とにかく最近では、フォトリディングを覚えたときと同じくらい、読書に対する革命が起きています。すごいです。

関連情報

- ソニーブックリーダー使用初日雑感～思ったよりかなりいいです
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2010/12/post-fa8d.html>
- 自炊用裁断機、届きました
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-e19e.html>
- 自炊結果報告
その1→ <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/1-a1ee.html>
その2→ <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/2-5c4a.html>
その3→ <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-f348.html>
その4→ <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-5321.html>
- 本の自炊、手戻り生じています
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-c050.html>
- 自炊用情報～白黒の一般的な書籍を読むときのおすすめのスキャナ設定
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-a944.html>
- 自炊本は600dpiと400dpiどちらがいいか～やはり600dpiがいい
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/600dpi400dpi600.html>
- 品質重視の方のための自炊用スキャナ設定
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-97bf.html>
- 自炊に適したスキャナについて、気づいたことの覚え書き
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-1f55.html>
- 自炊本～白黒2値とグレースケール、どちらがいいか
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/2-9850.html>
- 自炊本でよく聞かれることへの答え (FAQ)
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/faq-5078.html>

【勝間和代の無料オフィシャルメールマガジン】

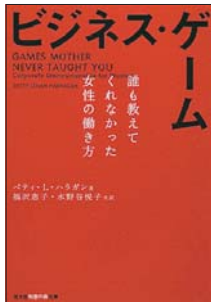
勝間のおすすめ本、Q&A、〇〇さんから聞いたちょっといい話、イベントの優先予約情報などを、第1・3金曜日にお届けしています。



登録はこちら http://www.katsumaweb.com/modules/contents/index.php?content_id=14

テーマ3 本を読もう

ある調査によると、1年間に出版される新刊書は7万冊以上もあるとのこと。「何を読んだらいいかわからない」と悩みたくなるのも当然です。そこで、勝間おすすめの6冊を厳選してご紹介します。本を選ぶ際のヒントにしてください。



ベティ・L・ハラガン著
光文社

ビジネス・ゲーム—誰も教えてくれなかった女性の働き方

<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2009/01/post-9195.html>

すべての悩める働く女性に、そして、その周りの方におすすめです。まさしく、私が20代前半で出会わなかったら、今の自分はない、という本です。当時さまざまな事情で復刊が難しかったので、コンセプトを同じにして、福沢さんと共著で書いた本が『会社でチャンスをつかむ人が実行している本当のルール』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）です。『ビジネス・ゲーム』と比べると、まだまだ至らない点が多く、オリジナルの偉大さに感激するばかりです。



田中秀臣著
東洋経済新報社

偏差値40から良い会社に入る方法

<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2009/12/40-1365.html>

反デフレ運動で大変お世話になっている、経済学者、田中秀臣先生の本です。田中先生がご指摘の通り、世の中の就職本はたいてい就職コア層（旧帝大と早稲田・慶応の文系）向けに書かれていて、いわゆる偏差値40の大学の学生には今ひとつピンと来ないものが多いのは確かです。

「面接で印象的な話をするための工夫」よりも、相手の目を見て話すといったコミュニケーションの基本を身につけたほうが、アウトプットにレバレッジがかかる、というのは言われてみれば確かにその通りです!!

これから就職活動を迎える学生だけでなく、転職を考えている方や、保護者の方にもオススメの1冊です。



リチャード・ワイズマン著
角川書店

運のいい人、悪い人

<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2010/10/post-4e76.html>

どうしたら運が良くなるのか、事例・アンケート・定量分析を通じて展開しています。

最初にチェックリストがありますので、ここで何が自分の運を悪くしているのかに気づくことができます。

運が良くなる法則は、「1. チャンスを最大限に広げる」「2. 直感を大事にする」「3. 幸運を期待する」「4. 不運を幸運に変える」の4つで、運がランダムな偶然ではなく、ふだんの行動規範や行動習慣から決まる、ということを示した内容です。私は自己採点をする、1と4はだいたいOK、2と3の強化が必要かなあ、という感じでした。でも、自分のことはとてつもなくラッキーだと思っています。



野口晴哉著
筑摩書房

風邪の効用

<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2010/12/post-fe04.html>

風邪をひいた時に読みました。

風邪をひくこと自体、免疫上の意味がある、身体に無理が起きた時にそれを治そうとして風邪の症状が出るのだから、無理に症状を抑えることはかえって良くない、という考え方です。

もちろん、この本の内容を鵜呑みにする必要は全くありませんが、1つの考え方として参考になりました。



大島清著
三笠書房

脳は「楽しく歩く」と若返る！

<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2010/12/post-6783.html>

医学博士である大島氏が自己の経験も踏まえて、歩くことの効用を教えてくれる本です。とにかく、歩く、というのは人間にとって、快楽のようです。

いや、これ、ツボでした。私が痩せたことに対し、「どうやって痩せたのですか？」と聞かれますが、Twitterでみなさんの経験談を聞いたところ、リバウンドもせず、楽に痩せた人たちが口を揃えて「ひたすら歩いた」というのを参考にしました。歩くために、靴をたくさん買って、あまり革靴も履かないようにして、歩数計付きの携帯で1日1万歩を目指すようにしました。因果関係はわかりませんが、不思議なことに、食べ物の好みも変わったような気がします。



広瀬香美著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

今日から歌がうまくなる！ 広瀬香美の歌い方教室

<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/post-3e86.html>

これまで、広瀬香美さんには個人的にボイストレーニングを受けたり、『題名のない音楽会』にゲスト出演して、歌のレッスンを受けたりしてきました。この本は、そんなふうにして教わってきた内容が、ちゃーんとすべて、収められています。腹筋のあるところを締めることで力を入れる方法、歌によってきれいになる方法、ありそうでなさそうな「歌・声」のトレーニング方法が満載です。

私もこの本を読んで、「あー、そうだった」と反省。テレビなどで話をする時に、発声に気をつけようと思いました。話に夢中になると、すぐ忘れて、喉からモゴモゴと出す声に戻っちゃうんですね。またちゃんと、復習して、がんばりまーす。

勝間のおすすめ本を紹介する
ブックレビュー

も大好評！！

無料体験実施中!!

CLICK HERE

サポートメール

「おはようございます、勝間和代です。」

1日の活力や、前に進むための気づきが、
たくさん詰まっている“サポートメール”。

前向きなあなたへ、毎朝6時にお届けします。



http://www.katsumaweb.com/modules/coach/index.php?content_id=1



近況報告 フォトリディング大阪講座、無事終了しました

10月20～23日の4日、大阪で勝間塾の月例会、自分コーチング手帳の説明会、フォトリディング講座を開催しました。フォトリディング講座を終えた勝間の感想をお届けします。自分コーチング手帳について知りたい方は、説明会の映像をご覧ください。

(2011年10月26日のブログ記事より)

この秋に東京で2回、大阪で1回のフォトリディング講座を開かせていただきました。対象は主に、勝間塾及びサポートメール読者のみなさんです。初回はほんとにたどたどしく、ご迷惑をおかけした講座も、2回目にはかなりスムーズに、そして、3回目の大阪講座はインストラクターマニュアルをほとんど読まずとも、2日間の流れが分かるようになり、楽しく終わることができました。

何より嬉しかったのが、どの会場でも、最初はたどたどしかったみなさんの読み方が、どんどん、どんどん、上達していくのを目の当たりにしたことです。

私はフォトリディングでの読み方が長くて、普通の読み方をすっかりしなくなってしまった

のですが、受講生のみなさんにも、全体構造を確認してから集中して、そして、必要なところを疑問をもって見ていく、というフォトリディングの読み方の繰り返しで、どれだけ読書が速くなるかを体感していただけたのが嬉しかったです。

フォトリディングは非言語や無意識の認知をどこまで高めるか、ということがキモであり、その部分を理解することで、私もういぶん仕事の幅が広がりました。2004年にあの講座を受けていなかったら、高い確率で、私は今もアナリストかコンサルタントをしていたことでしょう。

そんな、人生を変えてくれたフォトリディングについて、大阪でも2日間、教えることができて幸せでした。50名弱の受講生の方々も大変満足していただき、修了式の時に「100冊読んでフォトリディングをマスターします」と口々に言っていたのが、嬉しかったです。

フォトリディングのスキルのおかげで、これまでさまざまなことがどれほど助かったことか。そしてまた、教えることでの気づきも多く、本当に神田昌典さんと、ポール・シーリィさんに感謝です。

これからも、フォトリディングでたくさんの文字情報や、書籍情報を楽しんで読んでいきたいと思います



▼ 大阪で、自分コーチング手帳の説明会も開催しました。説明会の映像はこちらからご覧ください。

<http://www.ustream.tv/channel/katsumajuku>

関連情報

- 勝間がインストラクターになった経緯はこちらでお読みください。
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/10/post-81c0.html>
- フォトリディングの講習を受けた時の受講記はこちらです。
その1 → http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/point_of_view/2004/12/_1_.html
その2 → http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/point_of_view/2004/12/_2_.html
- 神田昌典さんとのフォトリディングフォローアップセミナーのおしらせ
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/10/1126-a520.html>

勝間和代と “学び”を共有する学舎 **勝間塾**

2011年10月20日(木)、「勝間塾」の第7回月例会が大阪で開催されました。今回のテーマは勝間の専門分野「会計」です。初の東京以外での開催ということもあり、会場で受講するのははじめてという方がほとんど。東京では有志の塾生によるパブリックビューイングも開催されました。

会計は言語である。

会計は経済行動のすべてを計測できる「経営のための言語」です。日本語が分らないと本が読めないのと同じように、会計が分らないと決算書が読めないということです。これは、つまり、経営ができない、ということになります。ですが、会計の知識が必要なのは、経営者だけではなく、ビジネスパーソンにとっても、日々の業務が貸借対照表や損益計算書にどう影響を及ぼしているのかを知ることで、効率的に動けるようになります。

夢のマイホーム購入が、債務超過を引き起こす？

右の図は、「預金300万円。3,000万円の新築物件を頭金200万円、2,800万円の住宅ローンを組んで購入する」という取引を、仕訳で表記したものです。

購入前の状態

普通預金	300万円	／	資本金	300万円
------	-------	---	-----	-------

購入時の仕訳

固定資産	3,000万円	／	長期借入金	2,800万円
普通預金	100万円	／	資本金	300万円

この取引では、資本金は増えません。それどころか、家具を買ったり、手数料を払ったりするので、資本金が減るのが一般的です。一方で、マイホームの評価は買っただけで通常約2割下がるといわれていますので、固定資産の評価額は購入直後に、実は3,000万円から一気に2,400万円に下がることになります。つまり、600万円の損ということは、資本金が300万円あっても、家計はマイナス。これは、会社なら債務超過の状態です。私が賃貸派である理由の1つにこのような背景があります。

会計の知識を身につけよう。

レストランに入ったら、お店の固定費や流動費を考えて、このお店はもうかっているのかを考えてみる。家計簿を見ながら、貸借対照表や損益計算書を作って、わが家の収支を検討してみる、など、日常のあらゆる場面で会計の知識は活用できます。会計の知識があることで、得られる情報が格段に増えます。ですから、勝間塾にいるみなさんには、ぜひ簿記3級程度の知識は身につけてほしいです。会計の知識は本を読むだけではなかなか分かりません。日々の仕訳や決算時の修正仕訳をもとに、精算表を作り、貸借対照表や損益計算書に至る一連の過程を理解するために、実際に手を動かす地道な作業を積み重ねていってください。

冬期講習、開催します
12月17日～18日

勝間塾 第8回 月例会

テーマは **マーケティング**

日時：2011年11月21日(月) 19:00～20:40

場所：直接お知らせします

※バーチャル参加は、11/20まで受け付けています。



月例会は、インターネット中継でのリアルタイム受講や、ダウンロード資料（オーディオブックとテキスト）での受講も可能です。会員専用のコミュニティもご利用いただけます。

勝間塾へのお申し込みを希望される方は、
こちらの詳細ページをご覧ください。

<http://www.katsumaweb.com/juku.htm>